新教出版社　9月24日発行

アナキズムとキリスト教

Anarchy and Christianity

（著）ジャック・エリュール　（訳）新教出版社編集部

定価2750円（本体2500円＋税）　四六判・上製・220頁　ISBN 978-4-400-40755-3 C1016

信仰のアナーキー

鋭利な技術社会批判で知られるキリスト教知識人、ジャック・エリュール。ファシズムとの闘争、シチュアシオニストとの接触やエコロジー運動への参与のなかで形成されたそのラディカルな思想は、組織宗教の権威主義や国家を追認する聖書理解に反駁し、信仰とアナキズムの出会うべき地点を開示する。主人の軛を砕く解放の神、支配の根拠を切り崩すイエス、政治権力を退ける預言書や黙示録など、キリスト教に内在するアナーキーなポテンシャルを覚醒させる晩年の重要作。

ジャック・エリュール Jacques Ellul（1912-1994）

フランス・ボルドー生まれ。ボルドー大学で教鞭を執った法制史家、社会科学者にして、改革派教会の信徒神学者。戦間期の思想運動・非順応主義の薫陶を受け、シチュアシオニストとの接触やアキテーヌ沿岸の開発反対闘争などへの参与をへて、キリスト教アナキズムともいうべき特異な思想を形成していった。イヴァン・イリイチを代表とするキリスト教的技術社会批判の系譜でも重要な位置を占める、再評価が待たれる思想家である。『技術社会 上下巻』（すぐ書房）ほか邦訳書多数。

目次より

第一部「キリスト教の立場から見たアナーキー」
1「アナーキーとは何か」、2「キリスト教に対するアナーキーな憤り」
第二部「アナーキーの源泉としての聖書」
1「ヘブライ語聖書」、2「イエス」、3「ヨハネの黙示録」、4「ペトロの手紙一」、5「パウロ」
補論「カール・バルトとアルフォンス・マイヨによるローマ人への手紙13章1-2節の解釈」「良心的兵役拒否者」……

国家に抗する信仰を伝える、キリスト教的「反政治」の証言書